

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価シート

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業
----	-------------------------------------

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	まちづくり	実施期間	R5年度～R7年度
-------	--------	------	-------	------	-----------

②事業概要

鳥の劇場は旧鹿野小学校等施設を鳥取市から譲渡され、劇場として運営しているが、老朽化やバリアフリー化の遅れなどの課題を抱えていることから、訪れる人々が安全・安心・快適に過ごすことのできる「みんなの居場所」への進化をめざして、鳥の劇場が実施する施設整備に対する支援を行う。
 また、文化芸術の振興による地域活性化を図るため、演劇に関する様々な要素について、幅広い世代が学べる演劇塾の運営に対する支援を行う。さらに、演劇と連携したマルシェ開催や観光体験メニューの商品化、将来的な地域への継続的な訪問に繋げる魅力発信などに対する支援を行う。

③令和5年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
1	舞台芸術を核とした交流の拠点づくり	<p>(1) 文化交流拠点整備事業 演劇を中心とした文化芸術による地域活性化を図るため、地域内外の多様な人々の活動や交流の拠点となる施設の整備に対する支援を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●旧鹿野小学校解体工事設計及び第1期工事設計監理業務：(株)白兔設計 ●旧幼稚園舎改修工事設計及び設計監理業務：(キノシタヒロシ建築設計事務所) ●旧鹿野小学区解体（1期）及び旧幼稚園改修工事：(株)ながお ●旧幼稚園舎改修及びバリアフリー化冷暖房設備工事：鳥取ビルコン(株) ●アネックス設計業務新バックヤード等建設：(有)アトリエ・ワン 	<p>企画推進部 文化交流課</p> <hr/> <p>舞台芸術×地域活性化事業</p>
2	舞台芸術を核とした人づくり	<p>(1) 演劇塾運営事業 日本の演劇文化の将来を担う優れた人材の発掘・育成を図るため、演劇の要素である演技、道具・衣装、音楽、脚本、映像制作などに関して学べる演劇塾を運営する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●演劇塾開催事業 演出家・俳優志望者向け専門講座の開催 〈実施内容〉 期間：令和5年8月7日～11日（5日間） 参加者：4人 講座：戯曲の読解や短いシーンの創作を通して、演劇の基本要素である演技、様々な要素を統合して作品として組み立てる演出に関して学べる演劇塾 	<p>企画推進部 文化交流課</p> <hr/> <p>舞台芸術×地域活性化事業</p>

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業
----	-------------------------------------

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部(局)課等
				実施事業を含む予算中事業名
3	舞台芸術を核とした賑わいづくり	(1) 演劇×マルシェ開催事業 鳥の劇場と連携し、農業への理解と地域への愛着を深める新たな機会の創出を図る。また舞台公演とあわせてマルシェを開催し、地元農産物を積極的にPRし知名度アップを図ることで、本市農業の生産振興及び販路拡大を図る。	●舞台公演マルシェ 開催期間：12日 来店者数：345人 ●6次化新商品開発支援 町内飲食店4店舗にて4件の新商品提供	農林水産部 農政企画課
		(2) 文化芸術観光創造事業(地域連携型体験観光商品造成モデル事業) 特色ある地域資源である鹿野町の「鳥の劇場」で行われている舞台芸術を活用し、教育旅行誘致や誘客イベント開催を通じた観光振興を図る。	●教育旅行誘致事業 関西圏等の旅行会社担当者を対象に鳥の劇場を活用したモニターツアーを実施。 ・参加者数：7社8名 ●ONSENガストロノミーウォーキング開催事業 温泉地を拠点に地元グルメを楽しみながらウォーキングを楽しめるイベントを開催。鳥の劇場でも参加者向けにアトラクションを提供し知名度向上を図った。 ・参加者数：123人 ・イベント満足度：84%	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
		(3) 文化芸術推進事業(鳥の演劇祭) 市民の文化芸術活動の促進や文化芸術に対する意識の高揚を図るため、鳥の劇場及び周辺を会場とする「鳥の演劇祭」の開催に対する支援を実施する。	鳥の演劇祭16 鑑賞事業「どろぼうがっこう」開催 〈実施内容〉 演劇「どろぼうがっこう」の公演 期日：9月18日 鑑賞者：263人 鳥の演劇祭全体入場者数：3000人	企画推進部 文化交流課
		(4) 町民音楽祭開催事業 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、町民ミュージカルの活動に対し補助を行う。 また、鳥の劇場との交流・演技指導により、地域の文化芸術における担い手育成や情報発信の相乗効果が生まれる。	●第37回鹿野ふるさとミュージカル「音楽劇さくら姫物語」の上演 ・開催日：令和6年2月25日 ・会場：鳥取市民会館 ・来場者数：約700人 ・鳥の劇場との連携を強化し、劇団員から高い芸術性や演劇のノウハウなどの指導を受けながら質の高い舞台づくりに努めた	鹿野町総合支所 地域振興課 町民音楽祭開催費(鹿野町地域振興課)
				鳥の農場文化交流創造事業費
				文化芸術観光創造事業費
				舞台芸術×地域活性化事業

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業
----	-------------------------------------

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
3	舞台芸術を核とした賑わいづくり	<p>(5) わったいな祭事業 地域住民団体との共催によるイベントをわったいな祭の一環として開催、城下町の空家利用店舗、特産品販売、文化団体の作品展示など地元（じげ）のひと・ものを集める取組を実施する。 また、旧鹿野小学校敷地内の新施設建設を見据え、城下町の空き家利用店舗の出店を鳥の劇場施設に拡大し、舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業を実施する。</p>	<p>●鹿野町わったいな祭の開催 ・来場者数：約6,500人 ・城下町並みPR事業：週末だけのまちの店（鳥の演劇祭と連携して開催、開催日：9月16日から10月1日までの土日） ・農産物・特産物販売促進事業：鹿野ええもん市（開催日：5月21日、10月29日） ・河内果樹の里山まつり（11月4日） ・芸能発表、作品展示（鳥の劇場を会場に運営・演出を連携して開催 開催日：10月29日）</p>	鹿野町総合支所 地域振興課
				わったいな祭り事業費

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業
----	-------------------------------------

④事業費について

総事業費		69,937,636	円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	34,968,818	円
	その他の特定財源	0	円
	一般財源	34,968,818	円

⑤重要業績評価指標（KPI）

指標1	指標名	旧鹿野町への転入者数（人/年度）				
	関連する事業番号	1・2・3	担当部（局）・課等		鹿野町総合支所 地域振興課	
		基準値 R3年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値	－	120	125	130	
	実績値	115	89			
	達成率		74.2%			
指標2	指標名	文化芸術鑑賞者数（人/年度）				
	関連する事業番号	1・2・3	担当部（局）・課等		企画推進部 文化交流課	
		基準値 R3年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値	－	44,000	58,000	72,000	
	実績値	23,969	56,780			
	達成率		129.0%			
指標3	指標名	鳥の劇場来場者数（人/年度）				
	関連する事業番号	1・2・3	担当部（局）・課等		企画推進部 文化交流課	
		基準値 R3年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値	－	3,789	4,134	5,168	
	実績値	3,445	6,488			
	達成率		171.2%			

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業
----	-------------------------------------

内部評価	
②	<p>内部評価基準</p> <p>①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p> <p>⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合</p>

⑥今後の方針について

事業番号1	令和6年度は、地域内外の多様な人々の活動や交流の拠点となる新アネックス（バックヤード等）の整備に対する支援を行う。
事業番号2	令和5年度に引き続き、演劇を活用した地域・次世代・企業等の人材育成のためのワークショップや研修を実施する。
事業番号3	<p>劇場施設整備に合わせ、劇場周辺の遊休農地を利用し実証的に農場を開設し、有機栽培または特別栽培により農産物を栽培する。栽培した農産物の収穫をキャストと観客が実施する等、農業体験を通じて、農産物の特徴・品質等あるいは農業への理解・関心を深めるきっかけとする。</p> <p>また、公演に合わせたワークショップの開催及びマルシェでの農産物販促や、商品開発及び演劇とのコラボによるプロモーション活動を実施するなど、劇場周辺により多くの人を継続的に誘客できる仕掛けづくりを検討していく。</p> <p>文化創造観光事業としては、引き続き鳥の劇場と連携した「ONSENガストロノミーウォーキング」イベントやモニターツアーを実施することで、さらなる観光振興を図る。</p> <p>また、「過疎」をテーマとして海外で活動している詩人を招致し、演劇と合わせた新たな事業の実施に対する支援を行う。</p>
事業番号3	<p>町民音楽祭開催事業について、市民参加型のミュージカルとして、演劇・舞踊・オーケストラ・合唱・地域の芸術家による舞台背景・ユニバーサルなダンス・太鼓などの音源活用など、幅広い分野の共演、鳥の劇場をはじめ県内外の専門チームによる支援などを継続し、質の高い舞台を維持することと同時に次世代育成に注力していく。ミュージカルの継続と地域づくり、人づくりにつながるような活動に努める。</p> <p>また、わったいな祭事業については、今後も継続して事業を実施するとともに、舞台芸術を核とした賑わいづくり事業の推進を図る。</p>

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業
----	-------------------------------------

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	外部評価基準 ①KPI達成に有効であった ②KPI達成にある程度有効であった ③KPI達成にあまり有効とは言えない ④KPI達成に有効とは言えない
②	

意見等 No.	事業 番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	1～3	指標1 関連する事業で転入者の目標値が高すぎるのではないかと	平成27年度から令和4年度の鹿野町への転入者数の平均は98人であり、達成可能な目標値であると考えています。	文化交流課
2	1～3	指標①～③のうち1つしか達成していませんが、③の来場者数は水物であり、概ね達成でいいと思います。 なお、指標①は何故このような指標が出ているのか分かりません。事業内容にも明確に転入者を増加させるようなものは見当たりませんし、そもそも転入者増は市域全体で推進すべきことで、鹿野地域だけでどうこうする問題ではないと思います。（※この地方創生推進タイプという事業が国の助成絡みで、全国一律の基準を押しつけているのかもしれない。） それよりも、市民の活動・参画型の事業が多く、城下町としての資産や有休農地活用などのコラボ型の事業にも取り組んでおられ、今後とも推進すべきと考えます。 具体的に、広く海外に目を向けた亀井茲矩公などを題材としたイベントができないものではないでしょうか。	【亀井公を題材としたイベントについて】 当該交付金事業とは別に、亀井公の功績を知ってもらい地域の資源・魅力を掘り起こし、鳥取市西地域に生きる誇りを住民に醸成してもらうため「亀井さん検定」を令和2年度から実施しています。 また、昨年度から城山神社や幸盛寺、譲伝寺などの亀井公縁の史跡をYouTubeで発信する事業も行っており、本事業で城下町を散策する際の一助になっています。 近年、日本のお城や歴史的景観などを観光するインバウンド需要が高まっていることもあり、SNSを活用した海外への情報発信にも力を入れていきたいと考えています。	文化交流課
3	3	劇場施設整備に合わせて遊休農地を利用する試みに興味を惹かれました。とはいえ、片手間では収穫までいかないのではないかと心配です。地域の経験者の協力が必要ですね。	劇場施設整備に併せ周辺環境の改善を目的に、地権者の同意を得て耕作放棄地の解消ができました。 また、生産・栽培に関しては有機栽培を手掛ける生産者と鳥劇キャストに、農地の維持管理については地元NPO法人に、成果物の販売は、マルシェ等イベントを手掛ける一般社団法人にそれぞれ役割分担し連携を図ることで、農地の保全と農産物の生産をバランスよく手掛けることができました。	農政企画課